

ふるさと CM大賞 えひめ'22

応募要項

eat  愛媛朝日テレビ

ふるさとCM大賞事務局

企画概要

事業名： 『eat ふるさとCM大賞 えひめ'22』

目的： ふるさとCMを広範な場で放送することで地域振興に寄与する

主催： eat^{5ch} 愛媛朝日テレビ

特別協賛： 伊予銀行

後援： 愛媛県 愛媛県教育委員会 愛媛県市長会 愛媛県町村会
(予定) 愛媛県商工会議所連合会 愛媛県商工会連合会
(公財)えひめ産業振興財団 (公財)えひめ地域政策研究センター
(一社)愛媛県観光物産協会 朝日新聞松山総局

審査会： **松山市総合コミュニティセンター・カメラアホール**
2022年2月20日(日)12:00～16:30(予定)

※新型コロナ等の事情によっては参加団体の参加者を集めての実施ではなく
リモート撮影や弊社スタジオでの収録開催になる場合もあります。

ごあいさつ

平素は弊社の事業にご理解とご支援を頂き、ありがとうございます。
『eatふるさとCM大賞えひめ』は、地域の皆さまに育てられ次回で17回目の開催を迎えることとなります。
これもひとえに自治体ご担当者様、協賛社様、後援団体様などのご協力があったることと改めて感謝申し上げます。

CM大賞は、わが町自慢の観光資源、特産品など、ふるさとの魅力・思いを30秒CM作品に込めていただき、
電波メディアが一体となって応援する、まさに「ふるさと密着型の広報イベント」です。

出品されたCMは、弊社媒体はもちろん、各地のイベントやWebでも有効に活用されています。大賞作品は、
県内のみならず全国で放送される予定です。

こうした地道な広報発信を続けることで、町の経済発展、観光活性化に必ずや寄与できるものと確信致しております。
「継続は力なり」と申します。

なにとぞ企画の意図するところをおくみ取り下さり、今後とも「ふるさとCM大賞えひめ」を応援して頂ければ幸いです。
最後に貴自治体、ふるさと愛媛のますますのご繁栄とご発展を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。

ふるさとCM大賞えひめ実行委員長
愛媛朝日テレビ 代表取締役社長 松田安啓

審査・各賞・著作権

- 事前審査 応募多数の場合、一次審査を実施する場合があります。
- 審査基準 作品における地域情報性、オリジナリティ、表現力などの総合力を審査し、各審査委員が採点、総得点数と会場投票得票数(大賞のみ加味)および審査委員の合議により決定する。
- 審査委員 榊井省志(アルタミラピクチャーズ代表)、他 予定
- 各賞
(予定)
 - ◆ふるさとCM大賞 副賞 年間200回 スポット放送
※愛媛県以外でも最大50回放送予定 過去実績:岩手、山形、福島、長野、石川、大分、長崎
 - ◆知事賞 副賞 年間100回 //
 - ◆市長会賞 副賞 年間 60回 //
 - ◆町村会賞 副賞 年間 60回 //
 - ◆伊予銀行賞 副賞 年間 50回 //
 - ◆審査員特別賞 副賞 年間 30回 //
 - ◆参加賞 上記入賞以外の作品に放送5回プレゼント

※予告なく名称の変更や新たな賞が加わる可能性もあります。
- 著作権 完成したCMの放送権、Web、紙媒体の掲載等に関わる著作権は、eatに帰属させていただきます。ただし 各市町は、放送後に原則リメイクしないことを条件に再利用可能(無料)です。

出品要綱

- 応募資格 自治体職員または自治体が認めた団体（例：商工団体、ビデオクラブ、中高放送部、プロダクションなど）
- 出品要領 エントリーシート(自治体または事務局で配布)に必要な事項ご記入の上、下記事務局へ郵送またはメール送信してください。
お問い合わせは、各自治体のCM大賞担当者または下記事務局までお願いします。
※エントリーシート、作品の提出×切は次ページをご確認ください。
- CMテーマ 題材やテーマは不問 地域の魅力を30秒CMで表現してください
- 応募本数 **・1制作団体につき1作品まで。1自治体の応募本数は制限なし。**
但し、複数作品提出の自治体については事務局により1次審査を実施し、作品数を調整する場合があります。
・1自治体につき最低1作品は必要ですので、応募本数が1本の自治体に関しては1次審査は実施せず、審査会へと進みます。

【ふるさとCM概要】

- タイトル 10文字以内（厳守）
- 団体名 10文字以内（厳守）
- 秒数 30秒（別紙：規定フォーマットあり）

【制作に伴う注意点】

- 作品搬入 DVDでご郵送ください。(SDカード、USB、ギガファイル便などのファイル転送サービス等を利用してメール提出も可) ※VHSは不可
- 規格 **MPEG-2、H.264(MOV)、AVIなど 解像度1080p以上。**
映像のフレームサイズが“1920×1080”になっていることを必ずご確認ください。
- 音楽著作権 **作品内で使用する楽曲、BGM等は著作権フリーの素材を使用するか、提出前に制作者で著作権処理を行うこと。**
- 肖像権 撮影の際は、出演者やその場の管理者に放送およびウェブサイトで公表されることを説明して、許可を得ること。
- 法令遵守 CM制作にあたっては、法令遵守の範囲で制作すること。
(例、公道で撮影を行う場合は必ず警察から許可を得る、車輛を使用しての撮影は必ずシートベルトを着用する等)
- 費用 応募無料（CM制作に係る経費と送料はご負担願います。）
- 募集媒体 ポスター等は出来上がり次第、各自治体へ配布します。
- その他 広報誌(紙)等にご掲載いただけるようタイトルロゴを準備して おりますので必要な場合はお申し付けください。
- お問い合わせ 〒790-8525 eat ふるさとCM大賞えひめ事務局(別府) TEL:089-946-2888 FAX:089-946-0505

エントリーから放送まで

- | | |
|---------------|-----------------|
| ①エントリー受付開始 | 2021年 6月 1日 (火) |
| ②エントリーシート提出〆切 | 9月30日 (木) |
| ③CM作品提出〆切 | 11月12日 (金) |
| ④審査会(公開収録) | 2022年 2月20日 (日) |
| ⑤公開収録の番組放送 | 3月予定 |
| ⑥入賞作品放送 | 4月～9月予定 |

※上記の各日程につきましては変更となる可能性もあります。

※新型コロナ等の事情によっては参加団体の参加者を会場にお集まりいただいたの公開収録ではなくリモート撮影や弊社スタジオでの収録開催になる可能性もあります。

CM制作にあたっての注意点

ふるさとCM制作にあたって、放送として使用するため、表現上いくつか守って頂きたいルールがあります。

【内容・表現上の注意点】

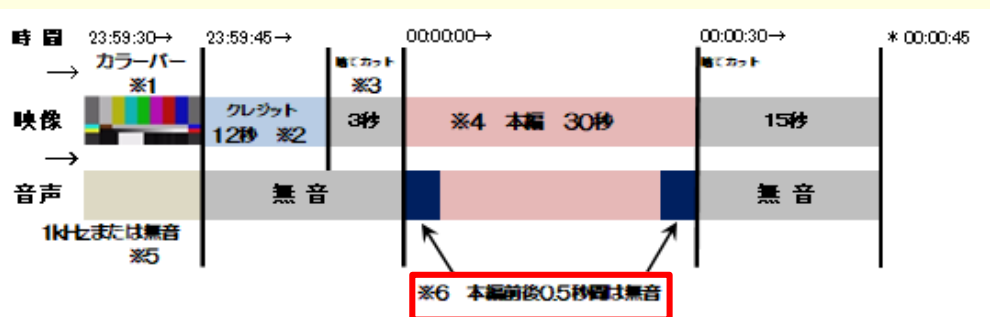
- ◆ 本編音声の**始まり部分と終わり部分**について、必ず**0.5秒間は無音**として下さい。
- ◆ CMTップの**黒フェードイン**、CMエンドの**黒フェードアウト**は不可
- ◆ 公共の施設や道路上など、撮影許可のない場所での撮影映像は不可
- ◆ 砂嵐、巻き戻し(早送り)の演出など、放送事故と誤認する表現は不可
- ◆ 映像のみ、または音声のみのCMは不可
- ◆ 全編モノクロ映像は不可
- ◆ 商品名、企業名がはっきり認められる衣裳や背景などの映像は不可（自動販売機など注意）
- ◆ 有名芸能人が映るテレビやポスターを背景としての撮影は不可
- ◆ 背景ノイズ(ガヤ)にプロの楽曲が流れている場合は不可（例;祭りの映像に三波春男氏の歌が入るなど）
- ◆ サイレン音、緊急音、それに似せた音の使用は不可
- ◆ コントラストの強い映像を1秒間に3回以上挟んだり、強い光を3秒以上点滅させるなどのパカパカ映像は受付不可
- ◆ 「世界初」「日本一」「完全」など最大級表現は、信用ある第三者機関の裏付け資料なき場合は受付不可
- ◆ 人権無視、差別、公衆道徳軽視、健全な社会生活を乱す表現は避ける（例;タバコの投げ捨て、暴力シーンなど）
- ◆ ニュースや天気予報と間違われそうな表現は、文字情報で補足してください
(例;〇〇上空にUFOが出現！←これは、〇〇のふるさとCMです。など)
- ◆ 視聴者に不快感を与える表現は避けてください
- ◆ 外国語だけの音声は受付不可
- ◆ 個人名を連呼するなど、売名行為と勘違いしてしまうような表現は不可

以上は民間放送におけるCM考査基準の一例です。**疑問点は、制作前にCM大賞事務局にご相談下さい。**

作品の編集・仕上げ・納品の前のチェック

応募頂いた作品は、全てTVで実際に放送されます。

そのため、放送規程上厳守して頂きたいフォーマットがあります。下記をご確認ください。



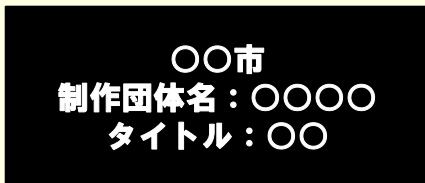
【お願い】

テープ、DVD等のケース及びレーベル面には必ず下記の3項目を記述して下さい。

- ①自治体名 ②正式団体名 ③正式タイトル

※1: カラーバーが入れない場合は、黒味または色ベタなどを入れてください。(時間は15秒間)

※2: クレジットには必ず、自治体名、正式制作団体名、正式タイトルを入れてください。



* 画面イメージ

* 黒の下地に白文字で記述

※3: 捨てカット(のりしろ部分)と呼ばれる部分には静止画を入れてください。
・冒頭の捨てカットの部分には00:00:00の映像を静止画にしたもの。
・後ろの捨てカットの部分には00:00:30の映像を静止画にしたもの。

※4: 本編の長さは、必ず30秒でお願い致します。

- ・作品冒頭の黒フェードイン、最後の黒フェードアウトは不可。
- ・文字も映像もない真っ黒の画面が入っていると放送不可。
- ・最後が静止画となる場合、1秒以上の尺を取ってください。

※5: 1kHz(調整用音声信号・ピー音)を入れない場合は無音でも可。

※6: 本編の冒頭とラストの0.5秒間には音を入れなくてください。

【最終チェック】

完成した作品は必ず家庭用テレビで確認してください